

# 令和2年度 鹿島小学校 学校研究概要

## 1 研究主題

自ら課題を発見し、主体的に解決しようとする児童の育成  
～ 学び合い深める授業を通して ～

## 2 主題設定の理由

本校は、学力向上ロードマップを基に「主体的に考え、学び合い、深める児童の育成」を目指し、分業・共有・PDCAサイクルの確立に向けた研究に取り組んできた。学力向上への組織的な取組が実施できるようになった。しかし、教師の出すぎにより、児童自らが課題を発見し、問題を解決するために主体的に取り組む力はまだまだ不十分である。また、12月の県評価問題では、県平均を上回っているものの目指す75%に達しておらず、特に「題意（文章・内容）を理解する力」「条件に合わせて複数の資料を活用し問題を解いたり、文章に書いたりする力」「要点を捉えながら話を聞いたり、文章を読んだりする力」が弱いことが分かった。

そこで、今年度は、児童の弱点を教科横断的に克服すべく、児童に付けたい資質能力を「問題発見・解決能力」とした。問題発見・解決能力を支えるスキルとして「課題設定」「情報活用」「記述」「語彙」の4つの力を育てていく。21世紀をたくましく生き抜く力の育成をめざし、これまでの成果のある取組を継続しつつ、4つの力を育てていくことが教師力を高めていくことにつながると考える。

## 3 研究の方針

### (1) 児童に付けたい資質能力とその定義

<資質能力> **問題発見・解決能力**

<定義>

各教科等において、物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程を重視した深い学びの実現を図ることを通じて、各教科等のそれぞれの分野における問題の発見・解決に必要な力  
(学習指導要領総則解説より抜粋)

付けたい資質能力を支える4つスキル

課題設定・・・見通しをもって課題に取り組むスキル

情報活用・・・様々な方法で、必要な情報を収集し、整理したり、分析したりしながら問題解決に生かすスキル

記述・・・自分の考えを論理的にまとめて各スキル

語彙・・・様々な語彙を知って、使えるようになるスキル

(2) 研究主題に迫るための研究の重点の内容

1 教育目標

21世紀をたくましく生き抜く力の育成 ～知・徳・体にわたる「生きる力」を育む～

2 教育方針

児童の実態や地域の特性と保護者の要望に即して、本校の重点目標を設定し、その達成に努める。そのために教職員は、各自の役割と責任を果たすとともに、組織的な学校運営をめざす。

3 めざす児童像

知識・技能を活用し、課題への追求意識を持ち、学び合い高め合いながら解決する子

**【研究主題】**

**自ら課題を発見し、主体的に解決しようとする児童の育成**

**～学び合い深める授業を通して～**

付けたい資質・能力

**情報活用**

☆ 様々な方法で、必要な情報を収集し、整理したり、分析したりしながら問題解決に生かす

**解決能力**

**問題発見**

**課題設定**

☆ 課題を見つけたり、決めたりし、課題解決への見通しをもち学習計画を立て、学習方法を考える

**記述**

自分の考えを論理的にまとめて書く

**語彙**

様々な語彙を知って、使えるようになる

**基本的な知識・技能**

### (3) 研究の重点

		<b>問題発見・解決能力</b>		
<b>重点</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見・解決能力を育成する単元の工夫</li> <li>・課題設定の工夫</li> <li>・情報活用の場面の充実</li> </ul>		
<b>授業研究</b>		<b>課題の可視化・共有化</b>	<b>対話のある学び合い</b>	<b>自覚を深める書く活動</b>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴール(単元・本時)を想定した学習課題の設定をする</li> <li>・身近な出来事から問題を見出し、解決の見通しをもって学習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な情報を選ぶ</li> <li>・既習から必要な情報を取捨選択する</li> <li>・友達の考えから新しい情報を得る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを使ったまとめ</li> <li>・条件に合わせて書く</li> <li>・適用問題、活用問題の工夫をする</li> <li>・単元末に学習したことをまとめて書く。</li> </ul>
<b>学びの土台</b>	<b>自学</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での学びを確認する</li> <li>・授業で新しく学習する内容を自分で確認する。</li> <li>・日頃の疑問から課題。設定をする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の考えから必要な情報を選ぶ</li> <li>・既習から必要な情報を見つける</li> <li>・インターネットや本を使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ページ割を考えてまとめる。</li> <li>・図式化してまとめる。</li> <li>・自分で文章化する。</li> <li>・自分の行動を振り返り、どうであったかまとめて書く</li> </ul>
	<b>条件作文</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件を意識する</li> <li>・自分の書きぶりを知り、自分なりの課題を見つける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな表現方法から選ぶ</li> <li>・友達と文章を読み合い、良い書き方をまねる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・推敲をして、更に良い書き方に変える</li> </ul>
<b>基礎基本</b>				
【授業研究】		【学びの土台】		
・発問の工夫 ・ツールの活用		・帯タイム ・きらきらハート ・生活ノート		

## 4 研究体制及び組織の役割

研究を進めるにあたって、学力向上ロードマップに示したように組織を構成し、別業を基に、全職員で取り組む。

## 5 研究の進め方

- ・研究科目は、教科横断的に資質能力を育むために、国語・算数・社会・理科・生活の5教科とする。(級外は、自分のもっている教科を研究科目とする。)
- ・研究授業(全体研を含む)は、基本学年1本は要請をかけ全体研として行う。その他は、低・中・高・特ごとにブロック研として行う。(全体研究授業(提案授業・A指定を含む)は、学年ごとに1本、年間6本とする。)
- ・前回の課題を明らかにした研究授業とする。

全体研究授業

**授業前**

- ・全体で模擬授業を行う。
- ・並行学級は先行授業を行う。

**授業参観時**

- ・研究の重点を参観の視点とし、授業参観を行う
- ・抽出児童のグループでの話し合いの様子を記録する。

**授業後(整理会)**

- ・研究の重点にそって、抽出児童の授業中の様子やワークシートなどを基に課題を出し合う。
- ・次につなげるために課題を明確にする。
- ・授業のよかった点や改善点、課題等を研究授業だよりで全体に紹介する。

## ブロック研

### 授業前

- ・ブロック各に指導案検討会を行う。

### 授業参観時

- ・研究の重点を参観の視点とし、授業参観を行う。

### 授業後

- ・研究の重点にそって児童のワークシートなどを基にブロックで整理会を行う。
- ・授業のよかった点や改善点、課題等を研究授業だよりで全体に紹介する。

## 6 学力向上ロードマップ

\*別紙参照

## 7 研究組織について

学力向上ロードマップ別業

組織	チーフ(◎) サブ(○)	年始め	学期毎	日頃
授業研究部	<b>授業研究に関わる実践のアシスト</b> <b>実践の取組の推進・確認</b> ◎(中沢) ○(大島) 低(大島・中沢) 中(工藤) 高(岡本) 特(丹後) 外(正木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体研究授業の日程調整(岡本) (低:中沢)(中:工藤)(高:岡本)</li> <li>・学習プロセス掲示物配布・確認(正木)</li> <li>・まなボード等学習道具準備・配付(丹後)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業チェックシート (低:大島)(中:工藤)(高:岡本)</li> <li>・研究授業の日程調整 (低:中沢)(中:工藤)(高:岡本)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業研究の連絡・整理会準備・研究授業だよりの発行・依頼 (低:中沢)(中:工藤)(高:岡本)</li> <li>・国語・算数板書記録綴り作成 (低:中沢)(中:工藤)(高:岡本)</li> <li>・ぱっちりタイム等での実践への取組推進・確認(全員)</li> </ul>
学びの土台部	<b>学びの土台に関する実践のアシスト</b> <b>実践の取組の推進・確認</b> ◎若プロ(三木) ○(藤原) 低(中村え) 中(岩本・澤多) 高(三木・藤原) 特(斉藤) 外(中村ふ・大西)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習ガイドブック配布(中村ふ)</li> <li>・自学ノートの説明(三木)</li> <li>・鹿島小5つの構え説明配付(三木)</li> <li>・言葉の宝箱配付[生活ノート](三木)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強ぱっちり大作戦表作成・配布・実施確認(藤原・斎藤)</li> <li>・帯タイム実施内容表の作成・配布・実施確認(三木)</li> <li>・きらきらハート掲示用紙配布(岩本)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・条件作文(三木) (低:中村え)(中:岩本)(高:三木)</li> <li>・ナカノトーーク(藤原) (低:中村え)(中:澤多)(高:藤原)</li> <li>・自学ノート呼びかけ・掲示・表彰(三木)</li> </ul>
調査評価部	<b>学力調査等の集計分析</b> <b>学力向上プランに関わる集計・分析</b> <b>改善プランの検証</b> ◎教務主任(高木) ○(堀) 低(白山) 中(岩崎) 高(堀) 特(山元) 外(高木・野田)	調査毎 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種調査採点・集計計画表作成推進(高木)</li> <li>・各種調査データ処理分析の推進(白山・岩崎・堀)</li> </ul>	学期末 <ul style="list-style-type: none"> <li>・活用テスト結果到達度による検証(岩崎・白山)</li> <li>・条件作文検証(堀・野田・山元)</li> <li>・児童教員アンケート質問紙調査分析・検証(高木)</li> </ul>	